中学生の保護者の皆様へ

77 期生　保護者

私の娘は、現在3年生※として茨木高校に在学しています。この度、皆様へのメッセージを書かせていただく機会を頂戴し、娘の高校受験当時を久しぶりに思い起こしております。幸運にも、コロナ禍直前の中学1年時、茨木高校説明会に親子で参加させて頂くことができまして、娘はその日の直感で「ここに来たい！」と決めてしまいました。ただし成績の問題は後回しです。恐らく、歴史ある茨木高校には、先輩方が共有されてこられた茨木高校ならではの空気が、色褪せずあちらこちらに残っているのでしょう、それを感じとっての決断だったのだと思います。

保護者として関わらせていただく中で、茨木高校には良い循環を生む空気が存在していると感じています。子どもたちは茨木高校での学習や行事を通して、互いの考え方や得意分野の違いを知り、ある時リーダー的な役割をした子が、次は引っ張ってもらう立場になる、教え合う、といった循環が生まれ、その結果、全体で思いもよらない力を発揮する集団となっているのだと思います。

茨木高校には多くの行事があります。なかでも妙見夜行登山と体育祭は他校にはないちょっと変わった行事です。妙見夜行登山はその名の通り、妙見山の山頂まで夜を徹して歩く行事です。妙見委員の生徒による下見や参加者のリハーサル等、安全面の準備をしっかりとして挑んでいます。とはいえ、往復約 50km の道のりです。決して楽なものではありません。そんな中、子どもたちは、仲間を気遣ったり、周りに助けてもらったり、生涯の宝物となるような得難い経験をさせていただきます。また茨木高校では9月上旬に体育祭を行います。マスゲーム、応援団、マスコット、それぞれの衣装づくりや旗づくりなど各団が3年生を中心に一から体育祭をつくりあげます。そのため、3年生の夏休みは、受験勉強だけではなく、全力の体育祭準備も加わり、それらを両立させる工夫と協力が不可欠となります。そしてこの体育祭は、各団1年生から3年生の縦割り構成のため、先輩後輩の関係を築く貴重な場にもなっています。3年生はかつて先輩方から学んだことをしっかりと引き継ぎ、今度は自分たちが先輩として1,2年生を引っ張って体育祭をつくりあげます。私たち大人は、そのプロセスを含む当日の若い命の輝きに、皆がみな感動せずにはいられないのです。

このように茨木高校では同学年間の良い循環、先輩後輩間の良い循環が日々生まれ、その伝統が代々受け継がれているのだと思います。ちなみに妙見夜行登山では PTA からの温かい豚汁もふるまわれますので、ほっこりタイムもありますよ！ということを申し添えておきたいと思います。

娘の高校受験に話をもどします。中学1年生で茨木高校受験を決めた娘は勉強も得意ではなく、英語とダンスだけを趣味とする子です。塾にも通わず、中学校の三者面談では、茨木高校受験を諦めるよう強く説得されました。が、完全無視でした。とにかく「自分が茨高生になっている未来しか想像できない」と言い、そこからの約1ヶ月間、本気の受験勉強をスタートさせ、そして茨木高校とのご縁をいただくことができました。

この出来事から、志望校は学力や評判だけで決めるのは勿体ないな、と思うようになりました。その高校に足を運び、実際に場の空気を感じ、その高校の生徒になっている未来が想像できるかどうか、というのも大きな要素ではないかと思います。より具体的にイメージできればできるほど、そこは自分に合った高校なのでしょうし、それを信じることができれば、その高校の空気が最後まで応援し、後押ししてくれるのではないかと思います。

どうか本日の説明会でのお子様の感覚を大切に、未来から流れてくる空気を感じながら、残りの貴重な受験期を過ごしていただければと思います。

※2024 年当時